

## 東京都がん診療連携協議会の役割

- 当該都道府県におけるがん診療の連携協力体制及び相談支援の提供体制その他がん医療に関する情報交換を行うこと。
- 当該都道府県内の院内がん登録のデータの分析、評価等を行うこと。
- がんの種類ごとに、当該都道府県においてセカンドオピニオンを提示する体制を有するがん診療連携拠点病院を含む医療機関の一覧を作成・共有し、広報すること。
- 当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院への診療支援を行う医師の派遣に係わる調整を行うこと。
- 当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有すること。また、我が国に多いがん以外のがんについて、地域連携クリティカルパスを整備することが望ましい。
- 当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修その他各種研修に関する計画を作成すること。

(厚生労働省「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」)  
(平成20年3月1日付健発第0301001号)Ⅳの4より)

## 東京都がん診療連携協議会委員名簿

区分	所属	役職	氏名
特別顧問	国立がんセンター	名誉総長	垣添 忠生
都道府県がん診療連携拠点病院	東京都立駒込病院	院長	佐々木 常雄
		副院長	坂巻 壽
		副院長	鶴田 耕二
	財団法人癌研究会有明病院	院長	中川 健
		副院長兼放射線治療科部長	山下 孝
地域がん診療連携拠点病院	東京大学医学部附属病院	教授	宮川 清
	日本医科大学付属病院	がん診療センター部長	内田 英二
	聖路加国際病院	副院長、小児総合医療センター長 小児科部長	細谷 亮太
	NTT東日本関東病院	呼吸器科・肺外科部長	石原 照夫
	日本赤十字社医療センター	副院長	田中 勲
	東京女子医科大学病院	外来化学療法部部長	林 和彦
	日本大学医学部附属板橋病院	副病院長	丹正 勝久
	帝京大学医学部附属病院	教授	江口 研二
	青梅市立総合病院	消化器内科部長	野口 修
	東京医科大学八王子医療センター	血液内科講師	岩瀬 理
	杏林大学医学部附属病院	腫瘍科教授	古瀬 純司
	武蔵野赤十字病院	副院長(兼)外科部長	丸山 洋
	東京都認定がん診療病院	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科 診療部長
国際医療福祉大学附属三田病院		副院長	鎌田 信悦
東京都済生会中央病院		副院長	中村 聡
順天堂大学医学部附属順天堂医院		がん治療センター センター長補佐	川崎 志保理
昭和大学病院		血液内科教授	友安 茂
独立行政法人国立病院機構 東京医療センター		統括診療部呼吸器科医長	小山田 吉孝
慶応義塾大学病院		外科学教授	北川 雄光
東京厚生年金病院		副院長	志田 晴彦
東京医科大学病院		副院長	土田 明彦
日本医科大学多摩永山病院		外科教授	笹島 耕二
医療関係団体	社団法人東京都医師会	副会長	内藤 裕郎
関係行政庁	東京都福祉保健局	医療政策部長	吉井 栄一郎
	東京都福祉保健局	参事(医療政策担当)	中川原 米俊
	東京都福祉保健局	医療政策部副参事(歯科担当)	椎名 恵子

# 東京都がん診療連携協議会の構成図

## 東京都がん診療連携協議会(駒込病院)

3

### がん登録部会

- ・ 登録精度向上策の検討
- ・ 分析・評価
- ・ がん対策企画・立案

### クリティカルパス部会

- ・ 統一パスの検討
- ・ 導入手順作成
- ・ 普及・啓発

### 相談・情報部会

- ・ 質の向上策の検討
- ・ 連携体制強化
- ・ 情報収集・提供

### 研修部会

- ・ 研修計画の検討・作成
- ・ 緩和ケア研修の実施
- ・ 人材育成策企画・立案

### 小委員会

肺がん

胃がん

肝がん

大腸がん

乳がん

地域連携パスの作成

《事務局》駒込病院

《事務局》癌研究会有明病院

平成20年度 東京都がん診療連携協議会及び各部会の開催状況

月	協 議 会	がん登録部会	研 修 部 会	クリティカルパス部会	肺 が ん	胃 が ん	肝 が ん	大 腸 が ん	乳 が ん	相談・情報部会
6	30日 第一回協議会									
7										
8			(小委員会) 29日 緩和ケア							
9				18日 第一回部会	成 ① 5大がんについて、都医師会と24の拠点・認定病院で、東京都共通のパスを作成 ② 5大がんごとの委員会の設置と、各委員会の委員長選出					
10										
11										
12			(小委員会) 20日 看護師			● 東京都医師会からの委員選出 ● 各委員会のメーリングリスト作成				
1		7日 第一回部会				21日 委員会 (於:NTT関東)				28日 第一回部会
2			(小委員会) 24日 放射線技師		4日 委員会 (於:東京医大)			3日 委員会 (於:都立駒込)		
3			(小委員会) 12日 薬剤師			11日 委員会 (於:NTT関東)	23日 委員会 (於:日大板橋)		10日 委員会 (於:癌研有明)	
21年度	5/28 第二回協議会				6/2 委員会 (於:東京医大)	5/27 委員会 (於:NTT関東)			6/23 委員会 (於:癌研有明)	

## がん登録

**がん登録は、がん患者の罹患、転帰その他の状況を登録、分析し、がん対策の立案、評価に重要な役割を荷う**

・院内がん登録:各病院のがんの診断・治療を受けた全患者の診断・治療・予後に関する情報を登録(治療成績等 詳しいデータ) どの病院が 乳がんに強いかなども分かる

・地域がん登録:対象地域の居住者に発生したすべてのがんを把握することにより、がんの罹患率と地域レベルの生存率を計測する仕組み

東京都はこれまで行っていない

なぜ、東京都の女性がんで、大腸がん、肺がん・乳がんなどの 死亡率が他に比べて高いのか? 分かっていない。

科学的にはっきりさせ、対策をはかるのに必要

## がん登録部会

### 院内がん登録

2009年3月には、駒込病院・有明病院と、地域がん診療連携拠点病院12病院は国立がんセンターへ2007年分のデータの登録が行われた。同データは8月には返却されて、この評価・分析を実施予定

東京都認定がん診療病院10病院は、この状況をみて、駒込病院へ登録する予定

今後の課題・予後調査について、区市町村の住民票の照会協力、手数料の発生等

## クリティカルパス部会

地域連携クリニカル・パスの整備

**拠点病院と診療所との連携により、在宅でも適切な外来化学療法や緩和ケアが提供できる体制**

**何かあっても、病院でも、診療所でも 状況がすぐ分かる 病院・診療所・患者で簡便化したカルテを持つ**

・5大がん(肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がん)について

・東京都全体での 統一フォームが欲しい

(二次医療圏とはいっても、東京の地域拠点病院は地域入り乱れている)

### 地域連携クリニカル・パス

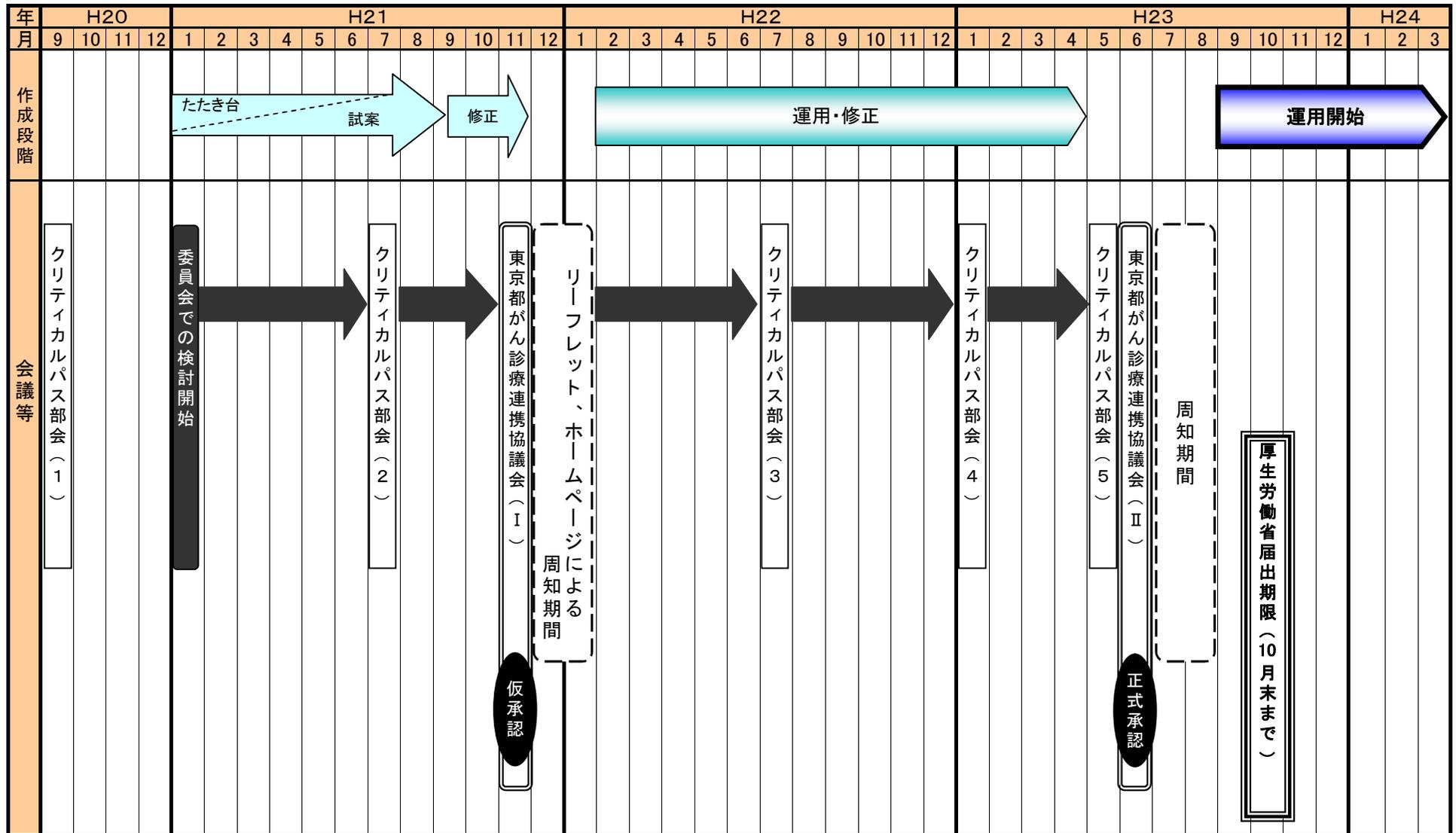
2+12+10病院+国立がんセンター中央病院+都医師会

胃がん、肝がん、肺がん、大腸がん、乳がん それぞれに 25病院から代表、都医師会からの各代表が出てワーキング・グループ。

各ワーキング・グループで素案を作成し、試行に入る

がん難民をなくそう！！

# 地域連携クリティカルパス整備スケジュール



## 相談・情報部会

### 拠点病院・認定病院での相談支援センター等、現状調査・お互いの情報交換

ひまわりの活用について

相談支援センターの存在の普及  
(ピアカンセリングの事業)

セカンドオピニオン

病院一欄・分かりやすい、探しやすいようにしての公表  
各がん毎に公表：拠点病院・認定病院からまとめて、範囲を広げる  
例：肝臓がん：セカンドオピニオンできる病院一覧

夜間・休日 電話相談 コールセンターについて

病院から、帰って、不安・相談相手がいない  
心の相談は、夜間でも必要  
精神科医・心理士の協力が必要  
普通の当直医師では、対応困難

福祉保健局

休日・夜間がん相談支援(モデル事業)予算  
がん患者・家族交流室整備費補助金



# 研修部会

癌研有明病院担当

## ・医療者の研修

## ・緩和ケア研修・医師

すべてのがん診療に携わる医師が研修等により基本的な知識を習得〔5年以内〕

東京都・推定医師・1万人

まず、講師となる医師を増やすための研修

### ●平成20年度 研修実施状況

#### (1) がん医療従事者研修

開催日	対象者	人数	研修内容
平成20年11月1日	薬剤師	49人	がん化学療法における安全対策
平成20年11月15日	診療放射線技師	75人	放射線治療における精度管理
平成20年11月29日	医師	41人	がんの薬物療法
平成20年12月20日	医師	39人	がんの放射線治療法
平成21年1月17日	医師	32人	がんの薬物療法
平成21年2月21日	看護師	59人	がん化学療法看護
平成21年3月7日	看護師	73人	痛みの看護

\*開催回数 医師：3回、看護師：2回、薬剤師1回、診療放射線技師1回

\*参加人数 医師：112人、看護師：132人、薬剤師49人、診療放射線技師75人 計368人

#### (2) 緩和ケア研修(厚生労働省指針に基づく)

開催日	主催	会場	修了者
11月22日(土) 23日(日)	東京大学医学部附属病院	東大医学部附属病院	23名
12月13日(土) 14日(日)	癌研究会有明病院	癌研究会有明病院	23名
1月17日(土) 18日(日)	慶応義塾大学病院	慶応義塾大学病院	52名
2月14日(土) 15日(日)	日本緩和医療学会	江戸川区民センター グリーンパレス	27名
2月21日(土) 22日(日)	東京女子医科大学病院	東京女子医大病院	14名
3月7日(土) 8日(日)	東京都立駒込病院	都立駒込病院	28名
3月28日(土) 29日(日)	日大医学部附属板橋病院	日大医学部附属 板橋病院	-
		(修了者累計)	167名

### ●平成21年度 研修実施計画

#### (1) がん医療従事者研修

開催日	対象者	人数	研修内容
平成21年5月30日(土)	薬剤師	50~70人	がん化学療法における薬剤師の役割
平成21年10月31日(土)	診療放射線技師	100~120人	放射線治療における精度管理
平成21年12月19日(土)	医師	100~120人	がんの薬物療法
平成21年11月28日(土)	医師	100~120人	がんの放射線治療法
平成21年10月24日(土)	看護師	100~120人	化学療法看護
平成22年1月30日(土)	看護師	100~120人	放射線療法看護

\*開催計画回数 医師：2回、看護師：2回、薬剤師1回、診療放射線技師1回

#### (2) 緩和ケア研修(厚生労働省指針に基づく)

平成20年度は、①講師等の確保が厳しい、②一部の講師への講師依頼が集中してしまう、③研修会の実施時期の重複等が発生することがあったため、平成21年度は、都内を地域別にグループ分けし、グループ内での研修会実施時期を調整することにより、研修会の円滑な実施を図る。